

第 187 回価格審査委員会議事要旨

開催日時、場所	2019 年 5 月 17 日（金）午前 10 時 00 分～11 時 10 分 経済調査会会議室	
出席委員	加藤佳孝、小路直彦、鈴木準、野口貴文（委員長）（五十音順）	

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果																										
<p>1. 前回議事概要の確認</p> <p>2. 「積算資料」6月号土木系資材の価格変動の妥当性について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回議事概要案が承認された。 ・ 審査対象資材のうち、6月号で掲載価格に変動が生じる土木系資材、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は以下のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; width: 25%; font-size: small;"><品目></th> <th style="text-align: center; width: 25%; font-size: small;">[地区]</th> <th style="text-align: center; width: 50%; font-size: small;">(理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">【上伸した資材】</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td style="text-align: center;">甲府</td> <td>協同組合の再編に伴い、製造コストの増大を販売価格に反映するべく今年1月契約分より値上げを打ち出す。需要側が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>軽油</td> <td style="text-align: center;">全国</td> <td>大手元売会社の統合・再編により、元売各社の採算販売姿勢は強まり、原油相場の上昇分が卸価格に反映された。販売業者も価格転嫁を進め、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>ストレートアスファルト</td> <td style="text-align: center;">那覇</td> <td>那覇地区では、県内唯一の油槽所を有するメーカーがプライスリーダー社となっている。同社は、原油調達コストの上昇を理由に4月からトン当たり4,000円の値上げを実施し、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>ヒューム管外圧管 B型1種</td> <td style="text-align: center;">岡山、広島、山口</td> <td>岡山地区では運搬費上昇により隣接県からの安値流入が減少し、市況上伸。広島、山口地区では需要減少による製造コスト増から協同組合が値上げを打ち出し、需要側が受け入れ、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">【下落した資材】</td> </tr> <tr> <td>鉄屑</td> <td style="text-align: center;">全国</td> <td>電炉メーカーの連休操業は盛り上がりを欠き、荷止め・荷受け制限を実施するなど需給はやや緩和。メーカー、問屋が買い入れ価格を引き下げ、市況下落。</td> </tr> </tbody> </table>			<品目>	[地区]	(理由)	【上伸した資材】			生コンクリート	甲府	協同組合の再編に伴い、製造コストの増大を販売価格に反映するべく今年1月契約分より値上げを打ち出す。需要側が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。	軽油	全国	大手元売会社の統合・再編により、元売各社の採算販売姿勢は強まり、原油相場の上昇分が卸価格に反映された。販売業者も価格転嫁を進め、市況上伸。	ストレートアスファルト	那覇	那覇地区では、県内唯一の油槽所を有するメーカーがプライスリーダー社となっている。同社は、原油調達コストの上昇を理由に4月からトン当たり4,000円の値上げを実施し、市況上伸。	ヒューム管外圧管 B型1種	岡山、広島、山口	岡山地区では運搬費上昇により隣接県からの安値流入が減少し、市況上伸。広島、山口地区では需要減少による製造コスト増から協同組合が値上げを打ち出し、需要側が受け入れ、市況上伸。	【下落した資材】			鉄屑	全国	電炉メーカーの連休操業は盛り上がりを欠き、荷止め・荷受け制限を実施するなど需給はやや緩和。メーカー、問屋が買い入れ価格を引き下げ、市況下落。
<品目>	[地区]	(理由)																									
【上伸した資材】																											
生コンクリート	甲府	協同組合の再編に伴い、製造コストの増大を販売価格に反映するべく今年1月契約分より値上げを打ち出す。需要側が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。																									
軽油	全国	大手元売会社の統合・再編により、元売各社の採算販売姿勢は強まり、原油相場の上昇分が卸価格に反映された。販売業者も価格転嫁を進め、市況上伸。																									
ストレートアスファルト	那覇	那覇地区では、県内唯一の油槽所を有するメーカーがプライスリーダー社となっている。同社は、原油調達コストの上昇を理由に4月からトン当たり4,000円の値上げを実施し、市況上伸。																									
ヒューム管外圧管 B型1種	岡山、広島、山口	岡山地区では運搬費上昇により隣接県からの安値流入が減少し、市況上伸。広島、山口地区では需要減少による製造コスト増から協同組合が値上げを打ち出し、需要側が受け入れ、市況上伸。																									
【下落した資材】																											
鉄屑	全国	電炉メーカーの連休操業は盛り上がりを欠き、荷止め・荷受け制限を実施するなど需給はやや緩和。メーカー、問屋が買い入れ価格を引き下げ、市況下落。																									
<p>○生コンクリートについて、甲府地区は今回価格上伸しても隣接県の長野地区と大きな差があるが、どのような理由が考えられるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生コンクリートの市場価格は、一般に協同組合の結束力の強弱に左右される。長野地区は協同組合の結束力が強い。甲府地区はこれまで員外社の影響が強く市況低迷が続いていたが、昨年末に員外社が組合に加盟し、今回の市況上伸に繋がった。先行きも強含み。また、セメントや骨材などの原材料の価格差も影響していると考えられる。 																										

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果									
<p>○鉄屑は中国と米国の貿易摩擦やその影響による世界経済の先行き不安から下落に転じそうだが、鉄筋も同じような見通しか。</p> <p>3. 「積算資料」6月号建築系資材の価格変動の妥当性について</p> <p>○建築系資材について、全般的に消費増税前の駆け込み需要はみられず、増税後の反動減もなさそうという見通しでよいか。</p> <p>○型枠用合板について、今後割安品が輸入されてくるとのことだが、その理由と輸入される時期はいつ頃か。</p> <p>4. その他 (1) 次回開催予定</p>	<p>・電炉メーカーでは、主原料の鉄屑価格が下落しているものの、黒鉛電極などの副資材費や輸送費が上昇しているため、現行価格の維持に努めている。鉄屑価格の下落が続くようであれば、値下げ要求も強まり、先行き、弱含みの見通し。</p> <p>・審査対象資材のうち、6月号で掲載価格に変動が生じる建築系資材、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は以下のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</p> <table border="0" data-bbox="638 515 1468 772"> <thead> <tr> <th data-bbox="702 526 798 560"><品目></th> <th data-bbox="957 526 1021 560">【地区】</th> <th data-bbox="1244 526 1324 560">(理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="678 571 853 604">【下落した資材】</td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 604 766 638">型枠用合板</td> <td data-bbox="877 604 1085 705">東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、四国</td> <td data-bbox="1117 604 1468 772">主要港の在庫総量は増加傾向。足元の需要は盛り上がりを欠き、数量指向の強い販売店による安値販売が散見され、市況下落。</td> </tr> </tbody> </table> <p>・木造住宅では、建売の影響はもう少し先まで分からないが、注文住宅は既に着工統計に表れてよい時期にもかかわらず駆け込み需要の様子はあまりみられない。政府による増税後の支援策もあるので、今のところ大きな影響は出ていないようである。</p> <p>・割安品の輸入については、倉庫に在庫を大量に抱えている業者は在庫を整理しないと、新規の注文を行うことができないので多少時間がかかる。また在庫品の仕入れ価格の関係もあり、すぐに割安品の価格が転嫁されるかどうか不明である。中国と米国の貿易対立で中国の合板工場からの輸入に規制がかかり、インドネシア産から安価なベトナム産にシフトしている。その影響でマレーシア産の価格も下がっている。</p> <p>・2019年6月17日(月)15時～17時と決定。</p> <p style="text-align: right;">(以 上)</p>	<品目>	【地区】	(理由)	【下落した資材】			型枠用合板	東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、四国	主要港の在庫総量は増加傾向。足元の需要は盛り上がりを欠き、数量指向の強い販売店による安値販売が散見され、市況下落。
<品目>	【地区】	(理由)								
【下落した資材】										
型枠用合板	東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、四国	主要港の在庫総量は増加傾向。足元の需要は盛り上がりを欠き、数量指向の強い販売店による安値販売が散見され、市況下落。								

価格審査委員会規約

(目的)

第 1 条 一般財団法人 経済調査会が実施する資材価格及び工事費(以下「資材価格等」という。)の調査結果について、その妥当性を高め調査の信頼性を向上させることを目的として、第三者による価格審査委員会(以下「委員会」という。)を設置するものとする。

(委員会の事務)

第 2 条 委員会は、理事長の委嘱に基づき、次の事務を行う。

- 一 資材価格等(定期刊行物に掲載するものに限る。以下同じ。)の調査結果の妥当性について審査すること。審査は公共工事において重要度の高い品目、工事費を選定して行うものとする。
- 二 その他資材価格等の調査に関して必要と認められる事項について審議すること。

(委員会の委員及び任期)

- 第 3 条 委員は公正中立の立場で審査を適切に行うことのできる学識経験等を有する者のうちから、理事長が委嘱する。
- 2 委員会は、委員 8 人以内で組織する。
 - 3 委員の任期は、2 年とする。ただし再任を妨げない。また、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
 - 4 委員は、非常勤とする。

(委員長)

- 第 4 条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選任する。
- 2 委員長は、委員会を代表する。
 - 3 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

(委員会の開催)

第 5 条 委員会は、委員長が招集し、原則として毎月 1 回開催する。

(審査の報告・助言)

第 6 条 委員会は、第 2 条により審査の対象となった事項に関し、必要に応じて理事長に対し審査結果の報告または助言を行う。

(意見等の聴取)

第 7 条 委員会は、第 2 条の事務を行うにあたり、必要に応じて委員以外の者から意見等を聴取することができる。

(秘密を守る義務)

第 8 条 委員は第 2 条の事務を処理する上で知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(事務局)

第 9 条 委員会の事務局は、一般財団法人 経済調査会 調査監理部審査室に置く。なお事務局は価格動向、価格変動理由等の資料を委員会に提出するものとする。

附則

この規約は、平成 15 年 11 月 13 日から施行する。

この規約は、平成 16 年 4 月 13 日から改訂施行する。

この規約は、平成 18 年 4 月 13 日から改訂施行する。

この規約は、平成 21 年 4 月 13 日から改訂施行する。

この規約は、平成 24 年 6 月 15 日から改訂施行する。